

横浜国大教員留学生 寒川東中学校で国際理解授業

6月23日(水)寒川東中学校は外国の人とのコミュニケーション能力の向上、日本以外の国の様子を知ることを目的として、横浜国大の鷲見徹也先生が指導する教員研修留学生3名を迎え国際理解の授業を行いました。教員留学研修制度はアジア、南米、アフリカを対象に日本政府が募集し、厳しい試験に合格した各国の学校の若い先生方で、今回の韓国の3名の留学生は昨年10月に来日、すでに寒川ではハロウィンに参加しています。寒川東中学では堀米信彦校長自らの案内で、午前中は2年生、3年生の各クラス授業を参観、校内の施設を見学し、午後は、1年生の4クラス全部を3名ともすべて20分刻みの授業を行いました。終了後PTAの広報担当と合同のミーティングが行われ、韓国の小学生の厳しい勉強の状況などが話題となりました。その後、さむかわ国際交流協会のメンバーとの歓談が弾みました。



堀米校長、例年の授業に謝意



鷲見先生、韓国からの留学生を紹介



堀米校長自ら校内を案内



パソコン教室へ



英語担当の先生 突然、韓国語で話さず



理科の実験



3人の留学生の先生が1年生の4クラス全部をまわり 汗だくの授業でした



歓迎のポスター前で



PTAの広報から取材を受ける



一緒に記念撮影